■保証について

〈保証内容のご確認とお願い〉

●この保証書は、記載内容（無料修理規定）に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

●無料修理を受けられる場合は、「ご購入明細書」が必要になります。
お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、大切に保管してください。
※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書（製品明細の記載があるもの）」のことです。

〈保証期間について〉

●保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間（週5日として1日8時間）の労働時間を想定しています。
24時間体制の執務、年中無休での業務や、これに準ずる過酷なご使用をされるところ(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での使用頻度を前提とした保証期間ではありません。ご理解の程お願い致します。

●電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。

お試し用の電池は、保証対象外です。

〈無料修理規定〉

1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。
その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。
また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室へご相談ください。

3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。

4.保証期間内でも以下の場合は有料となりますのでご了承願います。
(イ)ご購入明細書のご提示が無い場合
(ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
(ハ)消耗部品（弊社指定部品）の交換
(ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合
(ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
(ヘ)使用上の誤りによる故障または破損
(ト)カタログ、取扱説明書に記載の禁止事項もしくはそれに類する操作またはご使用者の故意もしくは重大な過失による故障または破損
(チ)加工・改造・不当な修理による故障または破損
(リ)設置後の落下、衝突や移動によって生じた故障または破損
(ヌ)接続している他の機器に起因した故障または破損
(ル)異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用もしくは保管による故障または破損
(ヲ)強い磁気の影響や特殊工具の使用による故障または損傷
(ワ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損
(カ)経時変化により発生する不具合または塗装面の自然退色
(ヨ)使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化
(タ)使用上の消耗により発生する異音などの現象、変質またはさび・かびの発生
(レ)外観の傷・へこみ・変形や再現のできない不良
(ソ)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象（におい、音鳴りや振動など）
(ツ)日本国外で使用された場合に生じた故障または破損

5.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。

7.ご購入明細書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

コクヨ株式会社

本社オフィス　〒537-8686　大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
ホームページURL　https://www.kokuyo.co.jp/

お問い合わせ、ご相談は
お客様相談室
kokuyo.jp/soudan/

2211020383FKH

KOKUYO

取扱説明書

シークエンスシリーズ

チルトテーブル

ベーシックレバータイプ　DSE-TSP□□□□B
フルスペックレバータイプ　DSE-TSP□□□□F

**このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。**

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

もくじ

1.安全上のご注意…… 1
2.末永くご使用いただくためのご注意…… 5
3.各部のなまえとはたらき …… 6
4.配線のしかた …… 8
5.使いかた …… 9
6.お手入れのしかた …… 21
7.故障かな?と思ったら（不調診断）…… 22
8.仕様 …… 25
9.組み立てかた …… 26
10.組立後の作動確認 …… 40
11.レイアウト時の注意事項 …… 41

1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告　取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意　取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠警告

●**コンセントがある場合、コンセントに接続する機器は、定格消費電力合計が最大消費電力以内で使用してください。**
これを超えると、異常発熱して火災の原因になるおそれがあります。

●**お客様で、解体や移設・レイアウト変更をしないでください。**
組立・施工が不十分ですと、破損や転倒によりけがをする原因になります。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

●**転倒防止金具を取り付けている製品は、転倒防止金具を絶対に外さないでください。**
転倒によって、けがをする原因になります。

●**収納家具で壁面に設置する製品は、地震対策のために、壁固定金具(オプション)で本体を壁固定されることをお勧めします。**
地震などの揺れによる転倒のおそれがあります。

●**収納家具の本体を並べて使用する場合は、上下・横連結されていることを確認してください。連結されていない場合は使用せず、お買い上げの販売店にご連絡ください。**

●**ラテラルキャビネットおよび奥行きの浅い両開き扉は単体では使用せず、必ず2台以上で連結してください。単体でのご使用となる場合は、転倒防止対策を行ってください。**
転倒によりけがをするおそれがあります。転倒防止対策については、お買い上げの販売店にご相談ください。

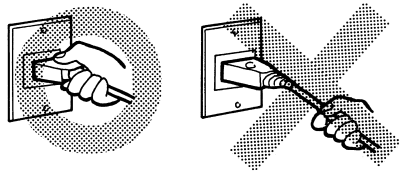
●**棚板、引き出しに収納するときは、バランスよく収納してください。**
上段や手前に偏った収納をすると、転倒によるけがのおそれがあります。

●**引き出しがある製品では、引き出しは、一段ずつ引き出してください。**
同時に二段以上引き出すと、転倒のおそれがあります。

●**製品を廃棄するときは、焼却しないでください。**
有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。
製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

●コンセント、電源プラグ、コードがある場合は、以下の内容を守らないと、感電やショート・火災の原因になります。
- **温度・湿度の高い場所では使用しないでください。**
- **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。**
- **電源プラグは、刃の根元までしっかり差し込んでください。**
- **電源プラグに、ホコリが付いた状態で使用しないでください。**
- **コンセントの差し込み口に、異物やゴミが入らないようにしてください。**
- **電源プラグは、必ずプラグを持って抜いてください。**



- **暖房器具など火気を近づけたり、熱風を当てないでください。**
- **コンセントや配線に水がかからないように注意してください。**
- **コンセントや配線に洗剤や殺虫剤をかけないでください。**
- **コードを止め金などで固定して使用しないでください。**
- **コードをたばねて使用しないでください。**
- **コードの上に重いものをのせたり、はさみ込んだりしないでください。**
- **コードを敷物の下にして使用しないでください。**
- **コードを無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじらないでください。**
- **コードが傷ついたままで使用しないでください。**
- **コンセントが破損したり、外れかけた状態で使用しないでください。**
- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **コンセント部やプラグ部などの分解や改造をしないでください。**
- **コードをワゴンなどで踏み付けないでください。**
- **ロッカー用オプションのコンセントを取り付ける場合、各コンセントの電源プラグの接続は、ベース内で行ってください。**

●健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。
- **この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってご使用ください。**
- **この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿(温度28℃、相対湿度50%超が目安)になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。**

●**運動具や乗物がわりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。(特にお子様にご注意ください。)**
転倒や破損により、けがをする原因になります。

●**使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。（特にお子様にご注意ください。）**
けがをする原因になります。

●**製品の上に立ち上がったり、腰を掛けたりしないでください。また、もたれかかったり、ぶら下がったりしないでください。（特にお子様にご注意ください。）**
転倒や転落により、けがをする原因になります。

●**床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。**
転倒によるけがの原因になります。

●**製品と収納物の重量に耐えられない場所には、設置しないでください。**
転倒によるけが・破損の原因になります。

●**アジャスターがある製品を設置する際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調節してください。**
前傾した状態で設置すると、扉が開いたり、引き出しが流れ出たり、本体が倒れてきて、けがをするおそれがあります。

●**専用のオプションパーツ以外は取り付けないでください。**
落下によるけがや破損の原因になります。

●**可動部（引き出しや配線カバーなど）のすきまに手や指を入れないでください。**
けがの原因になります。

●**棚爪のある製品は、4カ所とも同じ高さに取り付け、爪が側板に確実に入っていることを確認してください。**
棚板やのせているものが落下し、けがや破損のおそれがあります。

●**引き出しがある製品は、引き出しを引き出した状態で、上から押さえたり、重いものをのせないでください。**
本体の倒れや引き出しの破損によるけがの原因になります。

●**棚板に登らないでください。**
棚板が外れたり、本体が倒れて、けがをする原因になります。

●**トレーがある製品はトレーを引き出すとき、トレーが扉に当たらないように、トレーをまっすぐに引き出してください。**
トレーや扉が傷ついたり、破損してけがをするおそれがあります。

●**引き出しがある製品は、引き出しを引き出せなかったり、引き出している途中で止まった場合は、無理に引き出さないでください。**
破損によるけがの原因になります。

●**扉を開いた状態で、上から押さえたり引っ張ったりしないでください。**
転倒や破損してけがをする原因になります。

●**施錠付きの製品には貴重品を入れないでください。**
簡易施錠ですから、工具などによる破壊には耐えられません。

●**扉や引き戸、引き出しを施錠するときは、すべての扉や戸、引き出しが完全に閉まっていることを確認してから施錠してください。**
扉や戸、引き出しが少しでも開いていると、キーが回っても施錠されない場合があります。

●**のせるものが、天板からはみ出さないようにしてください。**
ものが落下して、けがをするおそれがあります。

●**ダブルロックユニットでは、ダブルロックユニットの上にものをのせないでください。**
ものが落下したり、破損してけがをする原因になります。ものをのせるときは、本体の上に棚板を取り付けてください。

●**上置きの開き扉を開けたまま、下置きの収納部を使用しないでください。**
立ち上がったときに、頭をぶつけてけがをする原因になります。

●**可動部に注油しないでください。**
油がたれて床や衣類を汚す原因になります。

●**コードダクト、コード受けにかばんなどを引っ掛けないでください。**
落下によるけがや破損の原因になります。

●**移動させるときは、のせているものをすべて取り除いてから行ってください。**
のせているものが落下して、けがをするおそれがあります。

●**製品の分解や改造はしないでください。**
けがや故障の原因になります。

●**ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。**
やけどや火災の原因になります。

●**乱暴な取り扱いや用途以外の使用はしないでください。**
けがや故障・破損の原因になります。

●**キャスターがある製品は、移動するとき以外はキャスターのストッパーをロック位置にしてください。（転倒防止キャスターは除く。）**
転倒などにより、けがをするおそれがあります。

●**扉や引き戸、引き出しの開閉はゆっくり行ってください。**
ストッパーの乗り越えや破損によって引き出しが抜け落ち、けがをするおそれがあります。
手や指をはさむおそれがあります。

●**ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。**
本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。

●**溶接外れやリベットのゆるみ、アジャスターやキャップ類の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。**
そのまま使用していますと、製品の破損により、けがをするおそれがあります。

●**棚板などが変形した状態で使用しないでください。**
落下や転倒などにより、けがをする原因になります。

●**ガラスにきずや欠けが生じたときは、すぐに取り替えてください。**
そのまま使用していますと、破損しやすくなり、けがをするおそれがあります。

●**製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。**
誤った使いかたや事故を防止するためのものです。ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ、正しい位置に貼ってからご使用ください。

●**この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。**

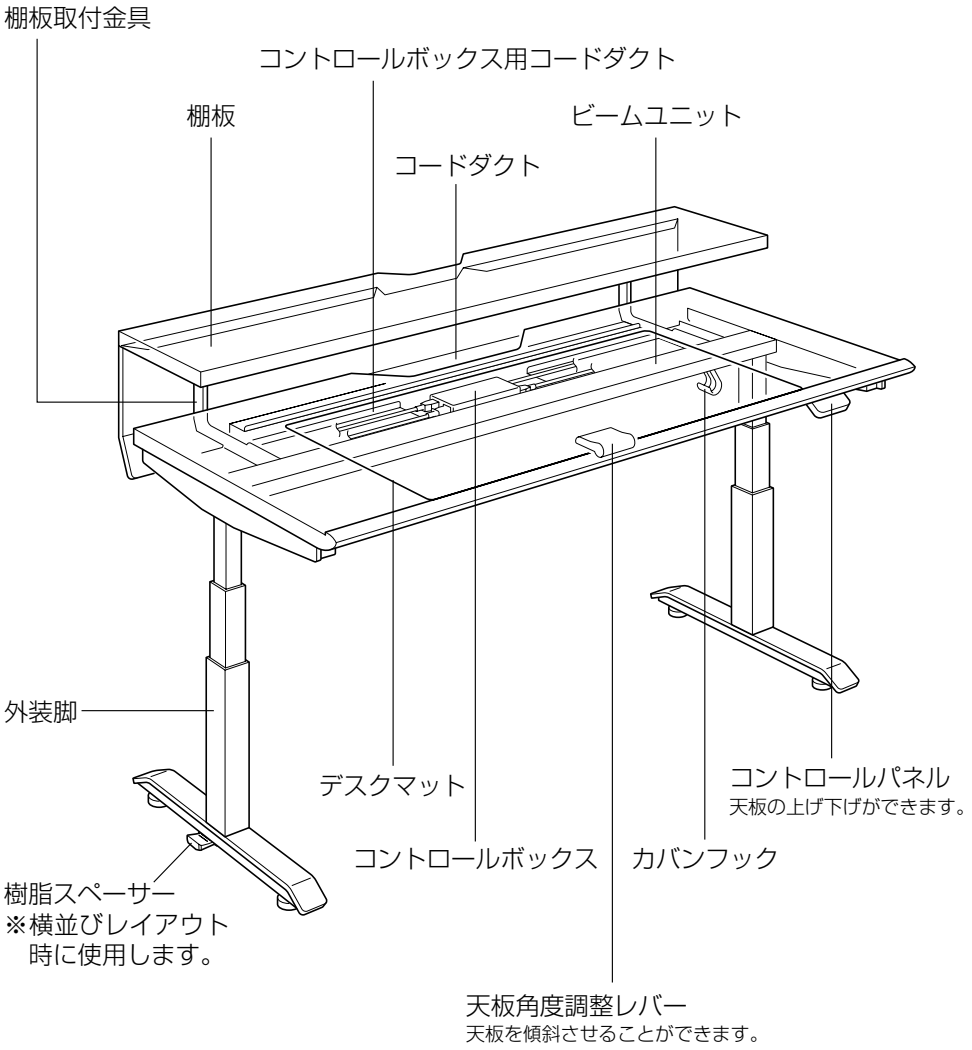
2.末永くご使用いただくためのご注意

- この製品は室内または屋内用です。
  屋外での使用や水ぬれは、故障やさび・反り・変色・カビの発生の原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱、エアコンの風が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。
  変色や変形・そりなどのおそれがあります。
- 天板に飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などをそのまま放置しないでください。
  表面材の変色やはがれ、ひび割れ、そりなどの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。
- 天板の上に、熱い湯のみや加熱したなべ・やかんなどを直接置かないでください。
  白く変色するおそれがあります。茶たくやなべ敷きを敷いて使用してください。
- 天板の上でボールペンなど先のとがったものを、直接強く使用すると表面を傷つけたり、跡が残ったりするおそれがあります。下敷き付きデスクマットの使用をおすすめします。
- 天板の上に、金属や陶器などの硬いものを直接置かないでください。
  表面を傷つける原因になります。
- 製品の色は、使用環境により紫外線等の影響で少しずつ変化します。また、素材によって変化の程度が異なります。
- 使用開始後、のせたものの重量や床の状態により、本体にゆがみが出てくることがあります。そのときは再度、本体の水平をアジャスターで調整してください。
- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

〈デスクマットについて〉

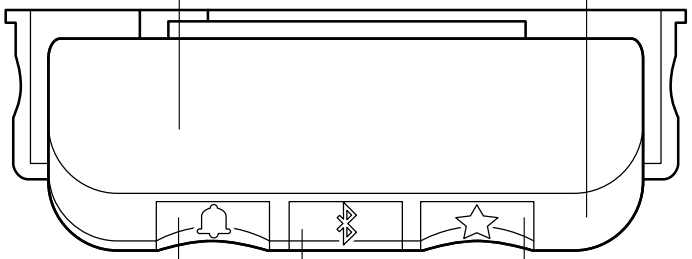
- デスクマットは、表面のキズや汗・皮脂・ハンドクリームなどの油分の影響で、波打ちや反りを起こす場合がありますのでご注意ください。
- デスクマットの巻きぐせが強い場合は、上から荷重をかけてお使いいただければ数日で巻きぐせが軽減します。
- コピーした用紙や濡れた書類は、よく乾燥させてからデスクマットに挟んでください。
- 一度デスクマットに転写を起こしたコピー用紙は挟まないでください。
- デスクマットに感熱紙を挟みますと、印字部分が退色しますのでご注意ください。
- デスクマットは温度・湿度・直射日光などの影響で若干伸縮したり、反ったり、変色したりする場合があります。
- デスクマットの上に、熱い湯のみやコーヒーカップなどを直接置かないでください。
  跡が付いたり、反ったりする場合があります。
- デスクマットをカッティングマットとして使用しないでください。

3.各部のなまえとはたらき



〈コントロールパネル〉

フルスペックレバータイプ



●表示画面

天板の高さを数字で表示します。
天板の高さを記憶させるときに、メモリー設定ボタン（☆）を押すとLEDが白く点滅し、高さの登録を開始します。
また、昇降装置に異常が発生したときに、「E01」「E02」などのエラーコードを表示します。

●レバー

このレバーを指で上に押すと天板が上昇し、下に押すと天板が下降、指を離すと停止します。
レバーを押し続けると、天板は129cmまで上昇、68cmまで下降して停止します。

●Bluetoothボタン

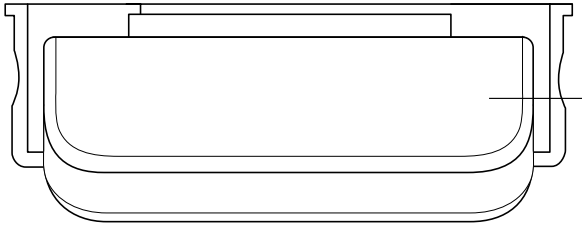
●リマインダー設定ボタン

立ち作業、座り作業の時間を設定するときに使用するボタンです。

●メモリー設定ボタン

天板の高さを記憶させるときに使用するボタンです。

ベーシックレバータイプ



●レバー

このレバーを指で上に押すと天板が上昇し、下に押すと天板が下降、指を離すと停止します。
レバーを押し続けると、天板は129cmまで上昇、68cmまで下降して停止します。

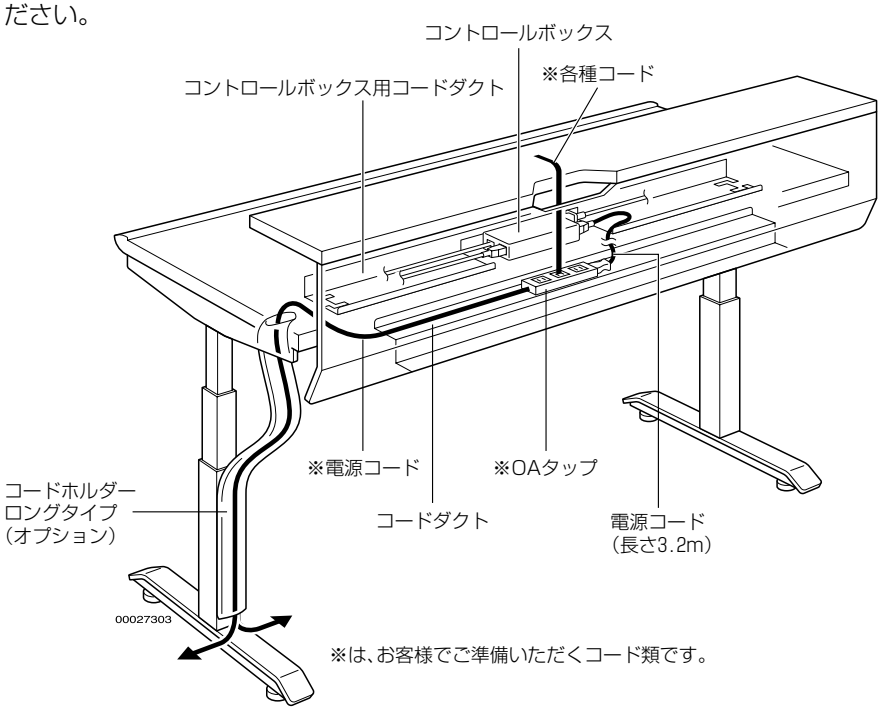
4.配線のしかた

⚠警告

- **交流100V以外の電源電圧で使用しないでください。（海外での使用や変圧器を用いた使用はできません。）**
  火災や感電・故障の原因になります。
- **配線作業は、必ず昇降停止状態で行ってください。**
  けがをするおそれがあります。
- **タコ足配線は絶対にしないでください。**
  ショート・火災の原因になります。
- **配線コードや電源コードは、必ず付属のコードをご使用ください。**
  ショート・火災・感電のおそれがあります。
- **電源コードは傷つけないように注意してください。また、コードが傷ついたときは、絶対に使用しないでください。**
  ショート・火災・感電のおそれがあります。
  コードホルダーロングタイプ（オプション）のご使用をお勧めします。
- **延長コードや機器のコード類は、最大高さでの使用を想定して、十分な長さのものをご使用ください。**
  断線や機器の転倒・落下により、ショート・感電・けが・破損のおそれがあります。
- **延長コードや機器のコード類を配線するときは、天板の昇降時に絡まったり、引っ掛かったりしないように注意してください。**
  断線や機器の転倒・落下により、ショート・感電・けが・破損のおそれがあります。

配線のしかた

各種コードの配線は、図のように行ってください。

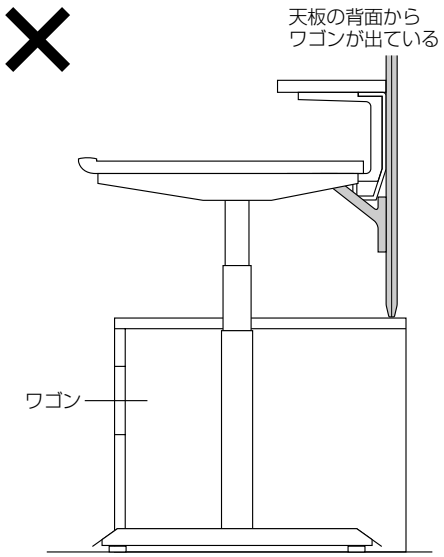


※は、お客様でご準備いただくコード類です。

5.使いかた

⚠警告

- **ビームユニット内のガススプリングは、絶対に分解や注油をしないでください。**
  高圧ガスが封入されていますので、吹き出しによるけがの原因になります。
- **ガススプリングを火気の中へ絶対に投入しないでください。**
  破裂によるけがの原因になります。
- **異音や異臭・煙が出るなどの異常が発生したときは、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。**
  異常状態のまま使用していますと、ショートや感電・火災・故障のおそれがあります。
- **脚(モーター部)やコントロールボックス、コントロールパネルに水や異物が入ったときは、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。**
  そのまま使用していますと、ショートや感電・火災・故障のおそれがあります。
- **操作が理解できないと思われる人や、幼児や子供がコントロールパネルに触れる可能性がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、操作できないようにしてください。**
  誤操作による事故の原因になります。
- **屋外や水のかかる場所では使用しないでください。**
  ショート・火災・感電・漏電の原因になります。
- **コントロールパネルやコントロールボックス、脚(モーター部)に強い衝撃を加えないでください。**
  誤作動によるけがや故障・破損の原因になります。
- **壁面に取り付けられた棚や掲示物が、昇降する棚板やオプション類に当たらないか確認してください。**
  破損や落下により、けがをするおそれがあります。
- **天板の下にワゴンを収納するときは、天板の背面からワゴンが出ないように注意してください。**



ワゴンがデスクトップパネルや取付金具に当たって、けがや破損のおそれがあります。

⚠注意

- **コードダクトやビームユニットの穴に指を入れないでください。(特にお子様にご注意ください。)**
  けがの原因になります。
- **天板の端や棚板に体重をかけたり、重いものをのせたりしないでください。**
  転倒や転落によるけがや、ものの破損の原因になります。
- **コントロールパネルに強い力や衝撃を加えないでください。**
  けがや破損の原因になります。
- **脚の昇降摺動面は、滑りをよくするために潤滑油が塗られて筋のように見える部分がありますので、接触しないようにご注意ください。**
  手や衣類を汚すおそれがあります。
- **チルトメカの軸付近は、滑りをよくするために潤滑油が塗られている部分がありますので、接触しないようにご注意ください。**
  手や衣類を汚すおそれがあります。
- **天板を傾斜させるときは、天板にのせているものをすべて取り除いてください。**
  転倒・落下によるけがや、ものの破損のおそれがあります。
- **天板が傾斜状態のとき、または天板を傾斜させるときは、天板の上に飲料を置かないでください。**
  転倒や落下による破損、卓上や床を汚す原因になります。
- **天板の可動部に、手やものを入れないでください。**
  けがや破損の原因になります。
- **移設するときは、オプションやのせているものを、すべて取り除いてから行ってください。**
  のせているものが落下して、けがをするおそれがあります。
- **連結した状態で移設しないでください。(横連結金具・縦連結金具の使用時)**
  けがや破損の原因になります。
- **配線している製品を移設するときは、すべての配線を外し、コード類を傷つけないように注意して行ってください。**
  コードの断線によるショートや感電のおそれがあります。
- **移設するときは、天板を水平状態に戻し、必ず2人以上で天板を持ち、持ち上げて行ってください。**
  引きずりますと、床を傷つけたり、製品を破損するおそれがあります。
- **移設するときは、壁や隣り合うものとの間に25㎜以上の間隔が確保されていることを確認してください。**
- **移設するときは、外装脚の樹脂スペーサーがずれたり外れたりしていないことを確認してください。**
  [樹脂スペーサーの使用時]

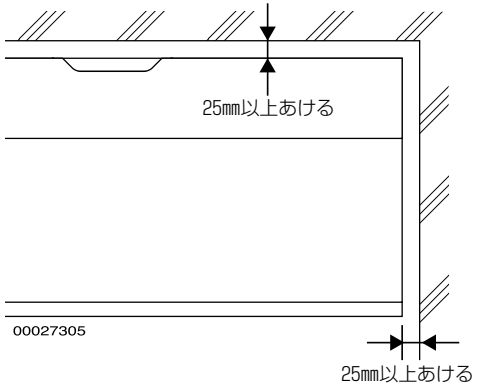
1 設置位置について

テーブルを設置するときは、壁面や隣り合うものから25㎜以上離してください。

⚠注意

壁や隣り合うものとの間に、間隔を25㎜以上空けて設置してください。

昇降時に指やものをはさむおそれがあります。

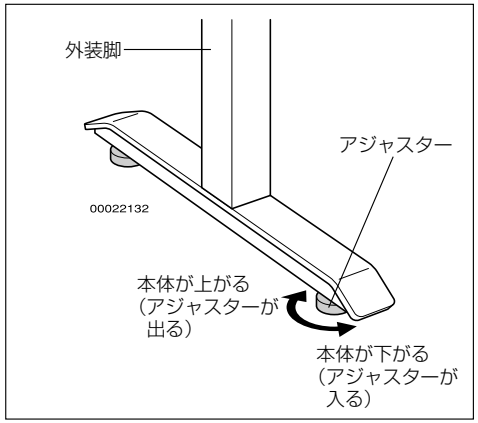


2 レベル調整のしかた

テーブルを設置した際にガタツキのある場合は、外装脚のアジャスターを調節して、レベル調整してください。

⚠注意

- **アジャスターの調節は、必ず2人以上で行い、テーブルをしっかり支えてください。**
  手や足をはさみ、けがをするおそれがあります。
- **本体を持ち上げてアジャスターを調節するときは、転倒しないように注意してください。また、持ち上げた本体を下ろすときも、手や足をはさまないように注意してください。**
  けがをするおそれがあります。



3 天板の昇降操作のしかた

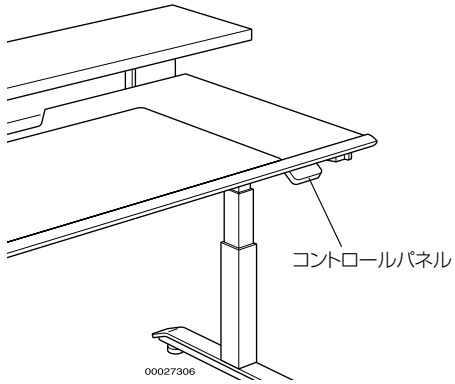
⚠警告

- **昇降の連続操作は、1分以内にしてください。また、1分間連続操作をしたときは、必ず10分以上操作をしないでください。**
  モーターに負荷がかかり、ショート・火災・故障・破損のおそれがあります。
- **昇降操作をするときは、必ずイスから立ち上がってください。**
  イスに座ったままで操作しますと、足をはさまれて、けがをするおそれがあります。
- **テーブルや棚板に人が寄り掛かったり、手や肘をついたりした状態では、昇降操作をしないでください。**
  転倒やはさまれたりして、けがをする原因になります。
- **昇降操作中は、人が近寄らないように注意してください。**
  けがをするおそれがあります。
- **昇降操作をするときは、天板の下に人やものが無いことを確認してから行ってください。（イスの背や肘、ワゴンなどにご注意ください。）**
  けが・破損・故障のおそれがあります。
- **昇降中の天板の下にもぐり込んだり、頭・腕・足・手を入れたりしないでください。（特に、お子様にご注意ください。）**
  天板に当たったり、はさまれたりして、けがをする原因になります。
- **昇降中の脚など、可動部には絶対に手を触れないでください。**
  けがをする原因になります。
- **昇降操作中に、万一イスやワゴン・棚などに当たったときは、直ちに操作を中止し、天板を戻してください。**
  転倒や破損により、けがをするおそれがあります。
- **昇降操作をするときは、天板上面に偏ってものを設置したり、置かないようにしてください。**
  故障や破損によるけがの原因になります。

- コントロールパネルを操作することによって、天板の高さ調節が行えます。
- 昇降中に天板やデスクトップパネルが障害物に接触するとはさみ込み防止機能が働き、操作中でも天板は自動的に止まり、約3㎝戻ります。

〈ご注意〉

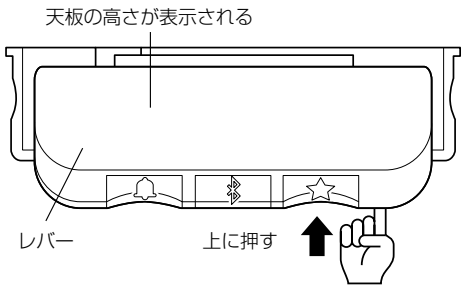
コントロールパネルを小刻みに操作した場合は、はさみ込み防止機能が働きませんのでご注意ください。



天板の上げかた

レバーを指で上に押し続けると天板が上昇し、フルスペックレバータイプの場合は、天板の高さが表示画面に表示されます。レバーから指を離すと天板は止まります。

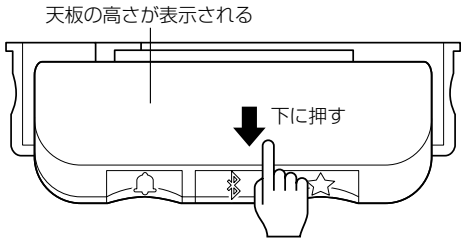
※天板は129cmまで上昇させることができます。



天板の下げかた

レバーを指で下に押し続けると天板が下降し、フルスペックレバータイプの場合は、天板の高さが表示画面に表示されます。レバーから指を離すと天板は止まります。

※天板は68cmまで下降させることができます。



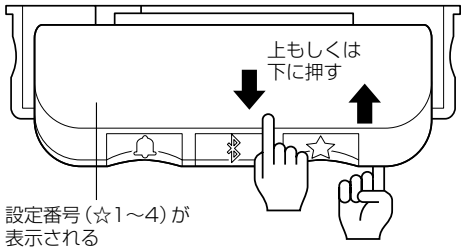
メモリー設定した高さへの天板の上げ・下げのしかた

（フルスペックレバータイプのみ）

レバーを上に押し続ける、もしくは下に押し続けると、あらかじめ設定された高さまで昇降して一時停止し、表示画面に設定番号（☆1～4）が表示されます。

〈ご注意〉

この操作をするためには、⑭ページの「4メモリー設定のしかた」の設定が必要です。



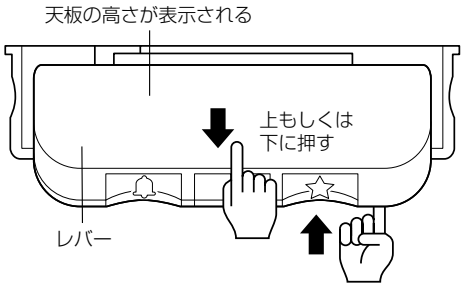
4 メモリー設定のしかた

（フルスペックレバータイプのみ）

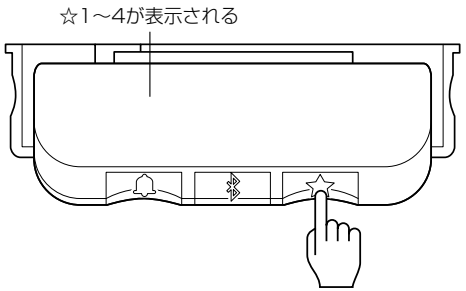
コントロールレバーのメモリー設定ボタン（☆）で、用途に合わせて☆1～4に天板の高さを4つ記憶（上書き）させることができます。

1. レバーを上もしくは下に押して、記憶させたい高さに天板を合せてください。

※天板の高さは、表示画面で確認してください。

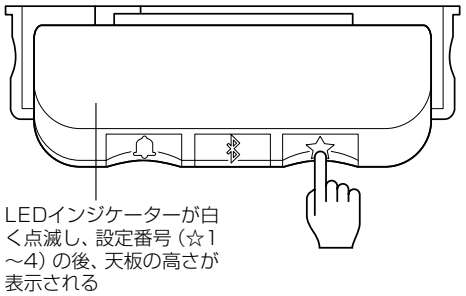


2. メモリー設定ボタン（☆）を押すごとに☆1、☆2、☆3、☆4と順に表示されます。



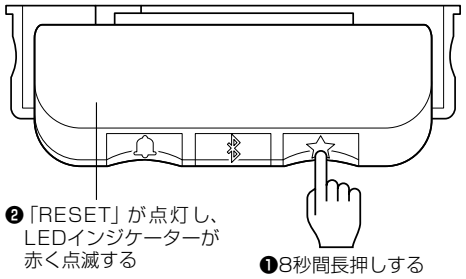
3. 任意の☆の番号を表示させた状態で、メモリー設定ボタン（☆）を2秒長押しして指を離してください。

表示画面のLEDインジケーターが白く点滅し、押したボタンの番号（☆1～4）が表示され、天板高さが記憶（上書き）されます。



5 設定したメモリーの消去のしかた
（フルスペックレバータイプのみ）

メモリー設定ボタン（☆）を8秒間長押ししてください。
設定したすべての高さメモリーが消去され、表示画面に「RESET」が点灯し、LEDインジケーターが赤く点滅します。

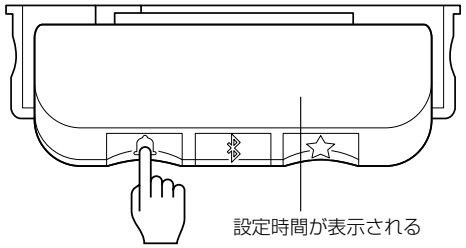


6 リマインダー機能の使いかた
（フルスペックレバータイプのみ）

フルスペックレバータイプは、座り時間の経過をお知らせするリマインダー機能を設定できます。

リマインダー機能
座り時間がリマインダー設定ボタンで設定した時間を超過すると、表示画面のLEDインジケーターがオレンジ色に速く点滅し、立つ時間であることをお知らせします。
天板を立つ位置に上昇させると、LEDインジケーターは緑色に変わり、ゆっくり点滅します。

設定のしかた
デフォルトでは、立ち時間・座り時間の配分が、60分に対して５分･55 分、10分･50分、15分・45分の３種設定されています。リマインダー設定ボタン（🔔）を押して、画面に表示された任意の時間間隔を選んでください。LEDインジケーターが緑色に点滅して確定します。
使用しない場合はOFFを選択してください。



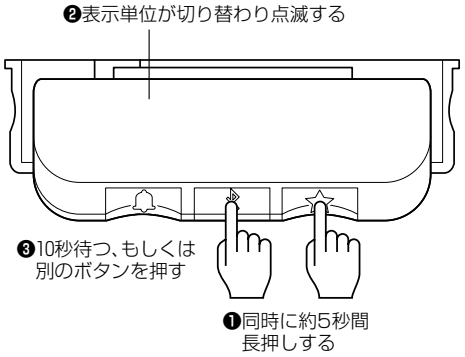
リマインダーの時間間隔

	①	②	③	④
立ち時間	5分	10分	15分	OFF
座り時間	55分	50分	45分	

※LEDインジケーターがオレンジ色に点滅するのは、座り時間を超過した時のみです。

7 表示単位の切り替え
（フルスペックレバータイプのみ）

フルスペックレバータイプは、センチメートル表示とインチ表示を切り替えることができます。
メモリー設定ボタン（☆）とBluetooth（ᛒ）ボタンを同時に5秒長押ししてください。
表示が切り替わり「CM」もしくは「INCH」の表示が点滅したら、レバーを上もしくは下に押して単位を切り替えてください。10秒待つか別のボタンを押すと、変更した単位が確定します。



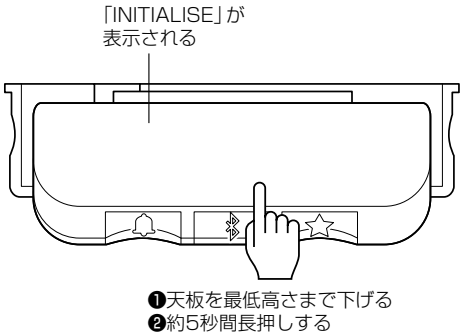
8 コントロールボックスの初期化のしかた

表示画面の数値と実際の天板の高さにズレが発生したとき、またはフルスペックレバータイプの表示画面に「INITIALISE」が点灯したときは、下記の要領で、コントロールボックスの初期化をしてください。

1. 天板の下に、イスやワゴンなど下降時に接触するおそれがあるものがあれば、取り除いてください。

2. レバーを押して天板を最低高さまで下げ、さらにレバーを約5秒間長押ししてください。フルスペックレバータイプの場合は、表示画面の「INITIALISE」が消え、下に1㎜下がって戻り初期化されます。

〈ご注意〉
初期化を行うと天板は一時的に63㎝まで下降しますが、再度68㎝以上まで上昇させてから下降させると設定した高さで止まります。



⚠注意

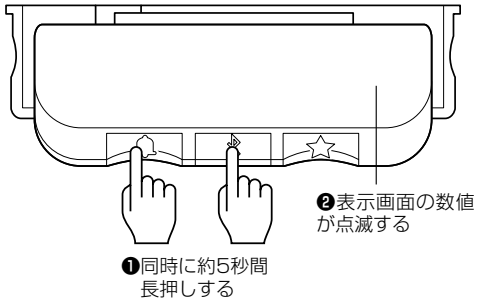
コントロールボックスを初期化する際は、可動部には絶対に手を触れないでください。
一時的に63㎝まで下降しますので、けがをする可能性があります。

以上で初期化は終了です。
※フルスペックレバータイプの場合は、⑰ページ「9表示画面の再設定のしかた」も必ず続けて行ってください。

9 表示画面の再設定のしかた
（フルスペックレバータイプのみ）

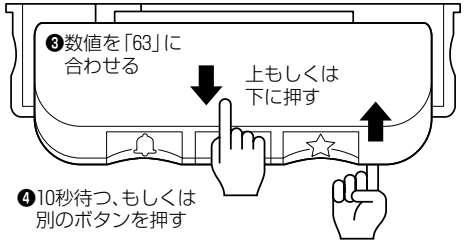
※表示画面の再設定は、必ずコントロールボックスを初期化した直後のテーブル高さが約63cmの状態で行ってください。

1.天板を最低高さまで下げた状態で、リマインダー設定ボタン（🔔）とBluetoothボタン（✱）を同時に、約5秒間長押ししてください。



2.表示画面の数値が点滅したら、レバーを操作し、表示画面の数値を「63」に合わせ、10秒待つか別のボタンを押してください。天板高さ設定が再設定されます。

操作は以上です。



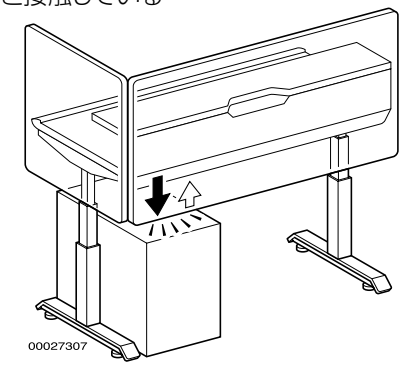
10 はさみ込み防止機能について

昇降操作中に天板やデスクトップパネルが障害物に接触して、一定の負荷がかかるとはさみ込み防止機能が働いて、自動的に約3cm戻ります。
昇降操作中にはさみ込み防止機能が働いたときは、天板やデスクトップパネルに接触している障害物を取り除いてください。

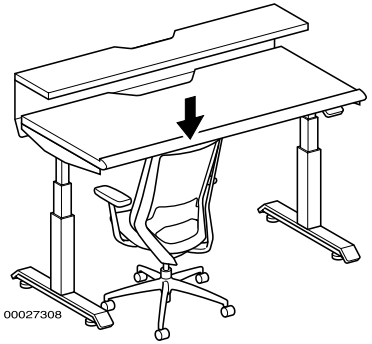
⚠警告

- **はさみ込み防止機能は、障害物や製品の破損を未然に防ぐ機能ですが、すべての条件下での作動を保障するものではありません。**
- **障害物が柔らかいもの（クッションやバッグなど）、障害物がたわんだとき、障害物の端だけが接触しているときは、はさみ込み防止機能が正しく作動しないことがありますので、直ぐに操作を中止してください。**
- **昇降操作をする前に、天板の下や周囲に接触するようなものがないか確認し、ある場合は取り除いてください。**
- **コントロールパネルを小刻みに操作して昇降させると障害物に接触して、天板が傾くおそれがあります。そのときは、㉔ページ「7.故障かな？と思ったら（不調診断）」の「● 昇降操作中に、天板が傾いてしまった。」の欄を参照してください。**

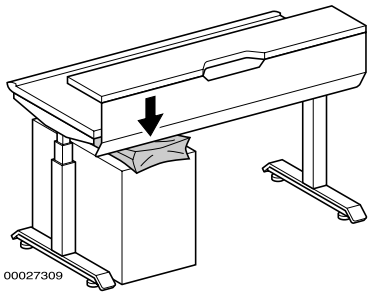
ワゴンを奥に入れすぎて、デスクトップパネルと接触している



イスの背が天板と接触している

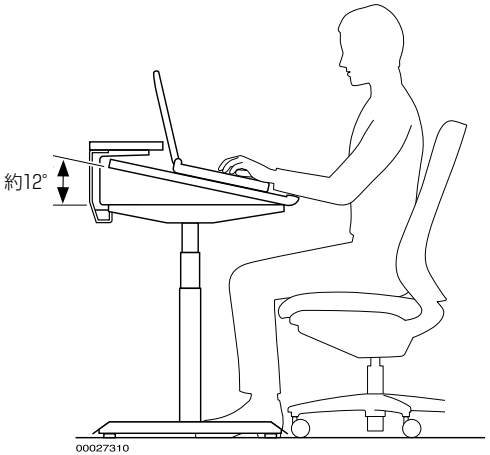


柔らかいものに天板が接触している
（はさみ込み防止機能が正しく作動しない）



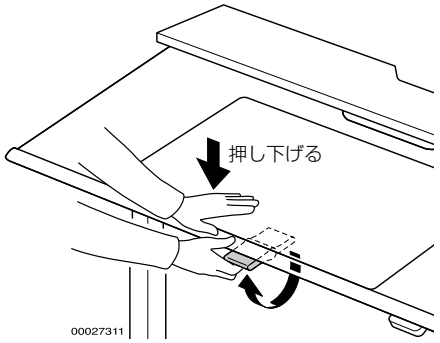
11 天板の傾斜角度調整のしかた

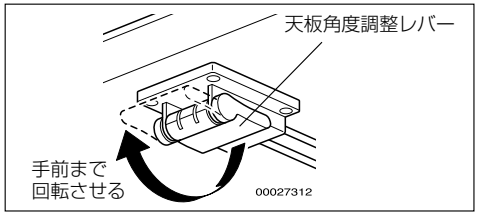
このテーブルの天板は、傾斜角度を0°～約12°まで無段階に調整できます。



〈天板を傾斜させるとき〉

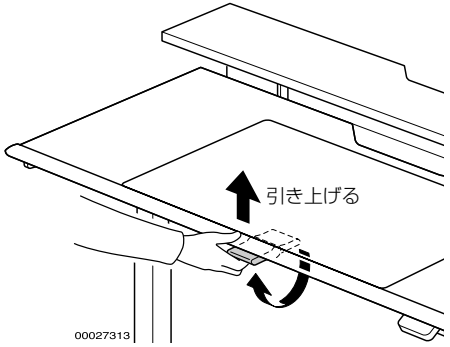
天板裏面の天板角度調整レバーを手前まで回転させて、天板の座席側をゆっくり押し下げてください。
ガススプリングの作動で天板に角度が付けられますので、お好みの角度でレバーから手を離してください。





〈天板を水平にするとき〉

天板裏面の天板角度調整レバーを手前まで回転させて、天板の座席側をゆっくり引き上げてください。ガススプリングの作動で天板を水平に戻すことができます。

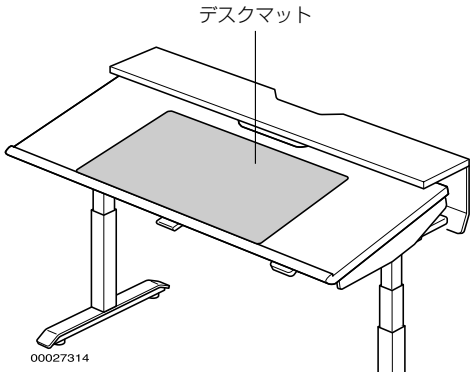


12 デスクマットの使いかた

天板の上に敷いてご使用ください。天板面より滑りにくくなり、ノートパソコンやマウスを置いて使用することができます。

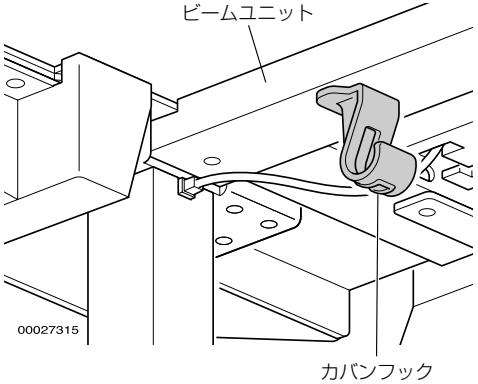
〈ご注意〉

- すべての物が滑らないわけではありませんのでご注意ください。
- このデスクマットは軟質塩化ビニル製です。伸び縮みしやすい材質のため、表記の外寸法と異なる場合がありますのでご了承ください。
- コピーした用紙をデスクマットにはさみ込む場合は、コピー機・プリンタの種類や使用環境などの条件により、インキがデスクマットに転写する場合がありますのでご了承ください。（非転写仕様を含む）



13 カバンフックの使いかた

ビームユニットにカバンフックを、図のように取り付けることができます。カバンフックには、カバンなどを引っ掛けることができます。



14 移設するときの注意事項

⚠警告

- **移設するときは、機器の配線やのせているもの、オプション類をすべて取り除いてから行ってください。**
  断線やのせているものの転倒・落下によるけが・破損のおそれがあります。
- **オプション類の取り付け・取り外しをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  作業中に誤ってボタンに触れると、天板が昇降して、ケガや破損のおそれがあります。
- **移設するときは、壁や隣り合うものとの間に25㎜以上の間隔が確保されていることを確認してください。**

⚠注意

- **移設するときは、必ず2人以上で持ち上げて行ってください。**
  引きずりますと、床を傷つけたり、製品を破損するおそれがあります。
- **移設するときは、外装脚の樹脂スペーサーがずれたり外れたりしていないことを確認してください。**
  [樹脂スペーサーの使用時]

6.お手入れのしかた

⚠注意

- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  また、水洗いはしないでください。
  感電・ショート・故障の原因になります。
- **お手入れの際に、コントロールパネルやコントロールボックス、脚(モーター部)、配線コードに水をかけないでください。**
  感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- **長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、コードを結束バンドでたばねてください。**
  ショート・火災のおそれがあります。

1 テーブルのお手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
  1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
  2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
  3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。
- 樹脂部は、家具用クリーナーなど界面活性剤入りのクリーナーを使用しないでください。
  キズがつく原因になります。

2 コードホルダー(オプション)のお手入れのしかた

- 日常のお手入れは、布部を手ではたくか、掃除機でほこりを吸い取ってください。
- ぬれた場合は水分をよく拭き取り、温度の上がらない場所でよく乾燥させてください。

汚れを落とすときの注意
水にぬれたままにしないでください。
また市販の各種クリーナーやワックス、シミ抜きなどを使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、お客様の判断においてご使用ください。
正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

■消毒のしかた

消毒のしかたと注意事項については、以下をご覧ください。

https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how_to_clean.pdf

7.故障かな?と思ったら(不調診断)

※以下の要領でレバーを操作してください。
※ベーシックレバータイプには表示機能がありませんので、テーブルの症状(「こんなときは」の項目)に合わせて処置してください。

こんなときは →	こう処置してください
● 本体がグラグラ(ガタガタ)する。	レベル調整が正しく行われていないことが考えられます。アジャスターで調節してください。
	各部のボルトがゆるんでいることが考えられます。ゆるんでいる場合は、締め直してください。
● 天板が動かない。 ● レバーを上に押しても天板が上昇しない。 ● レバーを下に押しても天板が下降しない。	電源プラグがコンセントに、確実に差し込まれていないことが考えられます。根元まで確実に差し込んでください。
	コネクタがコントロールボックスに、確実に差し込まれていないことが考えられます。根元まで確実に差し込んでください。

こんなときは →	こう処置してください
● 天板が動かない。 ● レバーを上に押しても天板が上昇しない。 ● レバーを下に押しても天板が下降しない。	電源コードやコントロールボックスからのコード類が損傷(断線)していることが考えられます。損傷(断線)しているときは、コードの交換が必要です。お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
	天板がいっぱいまで上昇または下降していることが考えられます。 **〈上昇しているとき〉** レバーを下に押して天板が下降するか確認してください。下降すれば正常です。下降しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 **〈下降しているとき〉** レバーを上に押して天板が上昇するか確認してください。上昇すれば正常です。上昇しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	連続で1分以上、天板を動かしていることが考えられます。約10分ほど操作を止めて、もう一度上昇しないときはレバーを上に、下降しないときはレバーを下に押してください。
	上昇しないときは、天板に60kgを超えて、ものをのせていることが考えられます。天板からものを下してください。
	天板やデスクトップパネルが何かものに当たっていることが考えられます。当たっているものを取り除くか、テーブルの位置を調整してください。
〈フルスペックレバータイプのみ〉 ● 昇降操作はできるが、レバーを操作しても最高高さ未満の、ある一定の高さまでしか天板が上昇しない。または、最低高さより上の、ある一定の高さまでしか天板が下降しない。	高さの上限、または下限のリミット設定がされてしまっていることが考えられます。 ファクトリーリセットを行ってください。 **〈ファクトリーリセットのしかた〉** リマインダー設定ボタン(🔔)とメモリー設定ボタン(☆)を同時に8秒長押しし、LEDが赤く3回点滅したことを確認してください。 その後、⑯ページ「8コントロールボックスの初期化のしかた」を行ってください。
● 上昇操作中に障害物に接触したまま停止してしまった。	コントロールパネルを下に押して天板を下げ、障害物を取り除いてください。
	レバーを下に押しても天板が動かないときは、レバーを下に小刻みに押して天板を下げ、障害物を取り除いてください。
● 下降操作中に障害物(※)に接触して、障害物が詰まってしまった。	コントロールパネルを上に押して天板を上げ、詰まった障害物を取り除いてください。
	レバーを上に押しても天板が動かない、またはすぐに下降に転じるときは、レバーを上に小刻みに押して天板を上げ、詰まった障害物を取り除いてください。

こんなときは →	こう処置してください
● 昇降操作中に、天板が傾いてしまった。	小刻みに天板を下降させたときに、障害物に当たったことが考えられます。または、コネクタがコントロールボックスに確実に差し込まれていないことが考えられます。根元まで確実に差し込んでください。 次に下記の要領で初期化を行ってください。 1.天板の下に、下降時に接触するおそれがあるものがあれば、取り除いてください。 2.レバーを下に長押しして、天板を最低高さ(約63cm高)まで下げてください。(フルスペックレバータイプの場合は、下降中に表示画面に「E01」が点滅します。) 以上で初期化操作は完了です。
● 表示画面に緑色もしくはオレンジ色のLEDが点滅している。(フルスペックレバータイプの場合)	リマインダー機能が作動しています。使用しない場合は、⑮ページ「6リマインダー機能の使いかた」を参照して、リマインダー機能を「OFF」に設定してください。
● 高さ表示が「68」以下になって、上昇操作ができなくなってしまった。	最低位置68cmの状態で10秒以上レバーを下に押したため、コントロールボックスの初期化が開始されていることが考えられます。⑯ページ「8コントロールボックスの初期化のしかた」を行った後、再度68cm以上まで上昇させてください。

(※)天板下にあるイスやワゴン、脚に取り付けた配線用のマグネットなど

こんなときは →	こう処置してください
● コントロールレバーの表示画面に「INITIALISE」(フルスペックレバータイプの場合)が表示された。 ● 天板が下降しかしなくなった。(ベーシックレバータイプの場合)	設定高さが不明のエラーコードです。⑯ページ「8コントロールボックスの初期化のしかた」を行ってください。
● コントロールパネルの表示画面に「E02」が表示された。	上昇方向に負荷がかかっているエラーコードです。負荷をかけているものを取り除いてください。
● コントロールパネルの表示画面に「E03」が表示された。	下降方向に負荷がかかっているエラーコードです。負荷をかけているものを取り除いてください。
● コントロールパネルの表示画面に「E10」が表示された。	電源電圧低下のエラーコードです。電源コードが確実に接続されているか確認してください。
● コントロールパネルの表示画面に「E16」が表示された。	間違ったボタンが押されたエラーコードです。改善しないときは、⑯ページ「8コントロールボックスの初期化のしかた」を行ってください。 フルスペックレバータイプの場合は、レバー下部の設定ボタンとレバーを同時に押していることが考えられます。目的の動作に必要な箇所のみ操作してください。

※以上の処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

8.仕様

品　　名		チルトテーブル					
タ イ プ		ベーシックレバー			フルスペックレバー		
品　　番：DSE-		TSP1207B	TSP1407B	TSP1607B	TSP1207F	TSP1407F	TSP1607F
外寸法（㎜）	幅	1150	1350	1550	1150	1350	1550
	奥行き	675					
	高さ	680 ～ 1290					
耐荷重	天板（水平時）	588N [約60kgf]					
	棚板	147N [約15kgf]					
	コードダクト	49N [約5kgf]					
	カバンフック	49N [約5kgf]					
アジャスター床傾斜調整範（㎜）		8					
素材	天板・棚板	表面材：メラミン化粧板、芯材：パーティクルボード、エッジ：樹脂押出材（ABS・PVC）					
	外装脚	スチール（焼付塗装）					
	ビームユニット	スチール（焼付塗装）					
	コントロールボックス用コードダクト	スチール（焼付塗装）					
	棚板取付金具	スチール（焼付塗装）					
	コードダクト	スチール（焼付塗装）					
	カバンフック	樹脂（PMMA）					
	配線クリップ	樹脂（ナイロン）					
	アジャスター	樹脂（ABS）					
	デスクマット	樹脂（PVC）					
	樹脂スペーサー	樹脂（PP）					

⚠注意

耐荷重（上表の数値）を超えて、ものを置かないで（入れないで）ください。

- 故障や変形の原因になります。
- 落下によるけがや破損の原因になります。

【家庭用品品質表示法に基づく表示】

外形寸法（㎜）

タイプ	ベーシックレバー			フルスペックレバー		
品　番:DSE-	TSP1207B	TSP1407B	TSP1607B	TSP1207F	TSP1407F	TSP1607F
幅	1150	1350	1550	1150	1350	1550
奥行き	675					
高さ	795（795 ～ 1405）					
甲板の高さ	680（680 ～ 1345）					

甲板の表面材　合成樹脂化粧パーティクルボード(メラミン樹脂)

表面加工　脚部、コードダクト部：ポリエステル塗装

取扱い上の注意　直射日光および熱をさけてください。
加熱した鍋、湯沸しなどを直接置かないでください。

コクヨ株式会社　大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

9.組み立てかた

⚠注意

- **製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。**
  誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。
- **製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。**
  転倒や部品の落下によるけが・破損のおそれがあります。

1 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

梱包品番	部品の種類	個数
DSET-T□□□	天板	1
DSES-T□□□	棚板	1
DSEF-T07T	外装脚	2
	樹脂スペーサー	2
DSEB-T□□	ビームユニット	1
	天板補強フレーム	1
	コントロールボックス用コードダクト	1
	ガススプリングカバー	2（左右各1）
	六角穴付キャップボルト（バネ座金・平座金付）M6×20 ※黒メッキ	20
	六角穴付キャップボルト（バネ座金・平座金付）M6×25 ※白メッキ	8
	配線クリップ	2
	十字穴付トラスタッピンネジφ3.5×20	6
DSEA-TD□□	コードダクト	1
	チルトステーカバー	2（左右各1）
	六角穴付極低頭ボルトM6×15	4
	十字穴付平頭ボルトM6×20	4
	ボルトキャップ	4
DSESJ-T10	棚板取付金具	2（左右各1）
	六角穴付極低頭ボルトM6×15	4
	六角穴付キャップボルト（バネ座金・平座金付）M6×20	4
DSEA-T2680（B·F）	コントロールボックス	1
	コントロールパネル	1
	モーターコード	2
	電源コード	1
	配線クリップ	1
	六角穴付キャップボルトM6×50	1
	十字穴付トラスタッピンネジφ3.5×20	1
	十字穴付皿頭タッピンネジφ4.5×35	2
	施工スペーサー	2
SNA-TH10	カバンフック	1
	六角穴付キャップボルトM6×20	1
DSEU-S4510	デスクマット	1

2 外装脚とビームユニットの組み立て

1.外装脚のアジャスターを、いっぱいまでねじ入れてください。

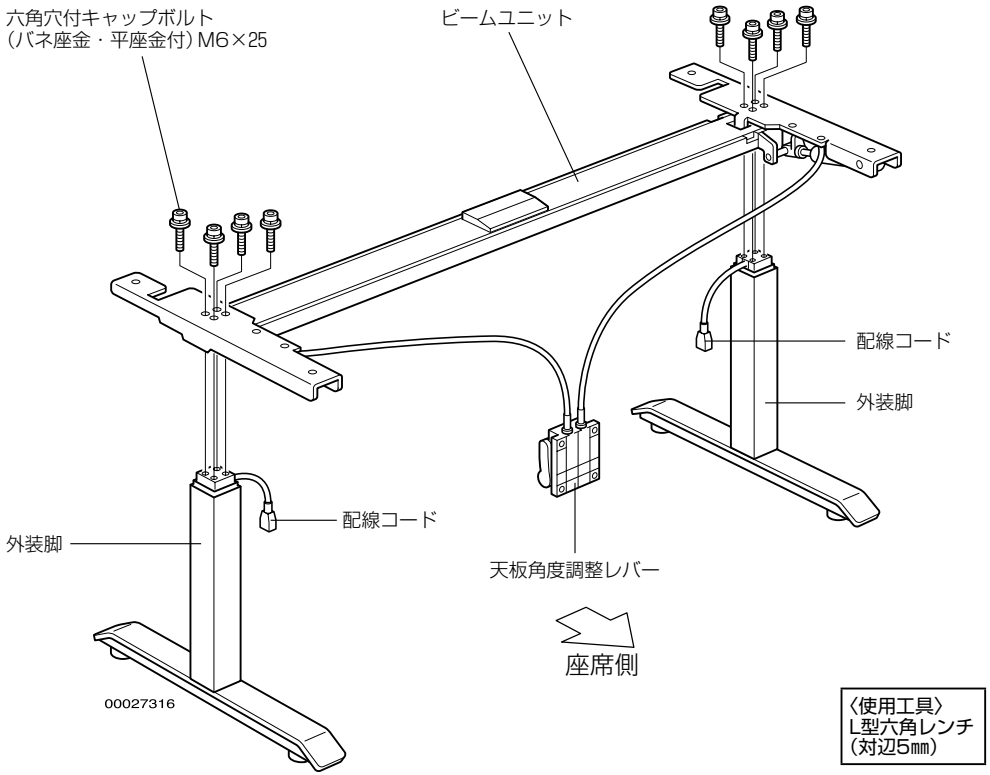
2.外装脚の配線コードが内向きになるように、外装脚を立てて置いてください。

3.外装脚にビームユニットをのせ、ビームユニットと外装脚の取付穴を合わせてください。

4.ビームユニットと外装脚を、図のようにボルトで本締めしてください。

〈ご注意〉

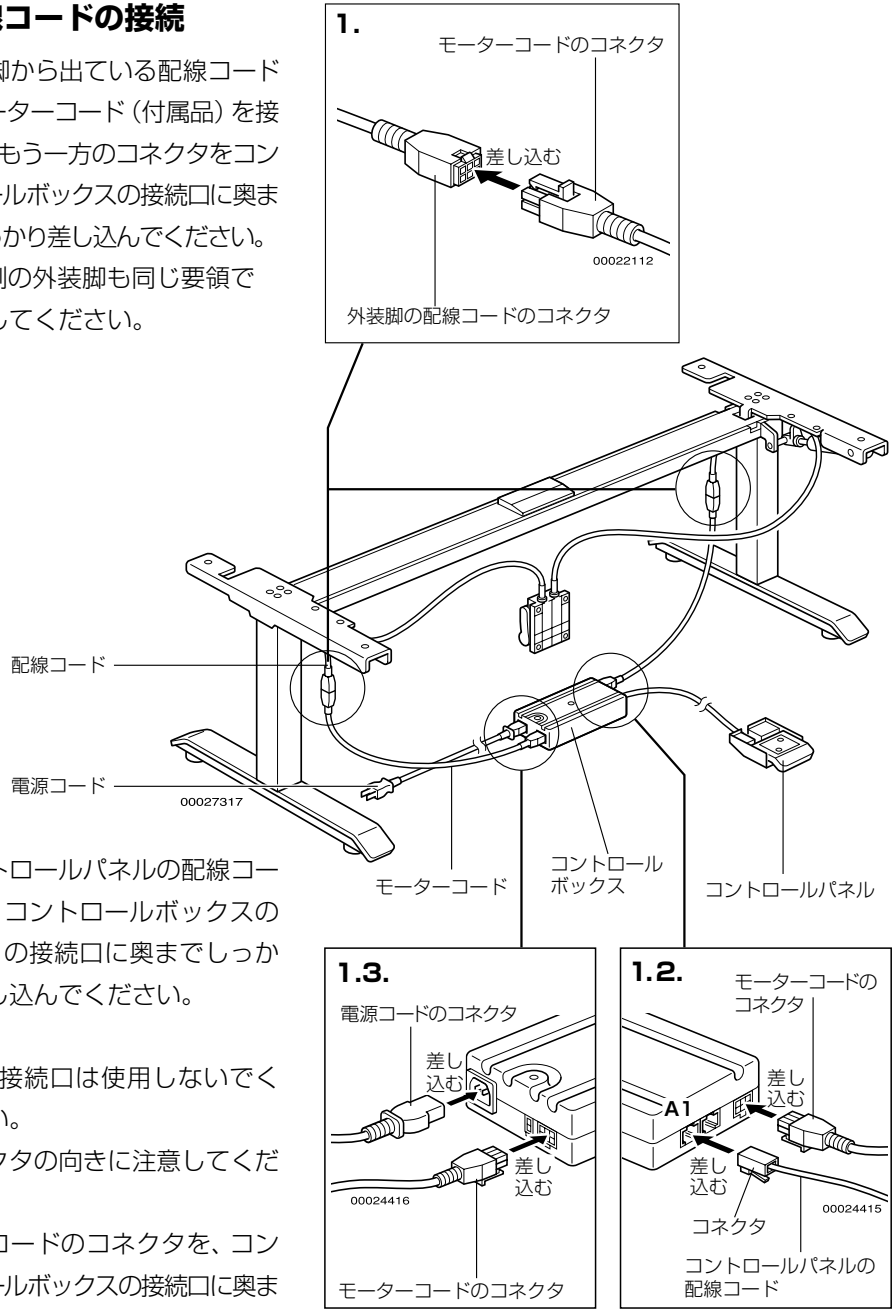
ビームユニットには、天板角度調整レバーが接続されていますので注意してください。
乱暴に扱うと配線コードの切断や破損のおそれがあります。



3 配線コードの接続

1.外装脚から出ている配線コードとモーターコード(付属品)を接続し、もう一方のコネクタをコントロールボックスの接続口に奥までしっかり差し込んでください。

※反対側の外装脚も同じ要領で接続してください。



2.コントロールパネルの配線コードを、コントロールボックスの「A1」の接続口に奥までしっかり差し込んでください。

〈ご注意〉

- A2の接続口は使用しないでください。
- コネクタの向きに注意してください。

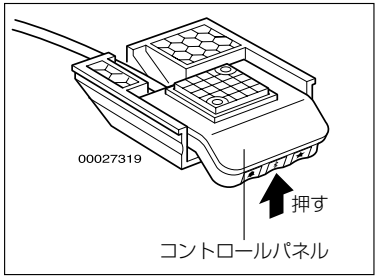
3.電源コードのコネクタを、コントロールボックスの接続口に奥までしっかり差し込んでください。

4 本体の高さ調節

1.電源コードのプラグを、電源コンセントに差し込んでください。

2.10秒以上時間をあけた後、⑯ページ「8コントロールボックスの初期化のしかた」の操作を行ってください。
フルスペックレバータイプの場合は、表示画面に「63」が表示したことを確認してください。

3.コントロールパネルを図のように操作して、本体を80～100㎝程度の高さまで上げてください。

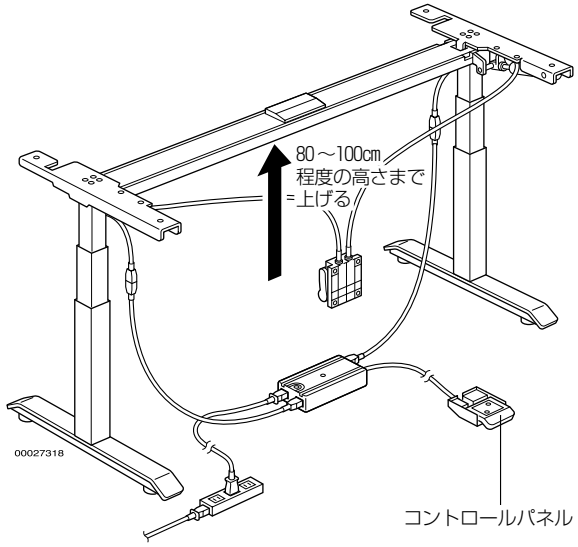


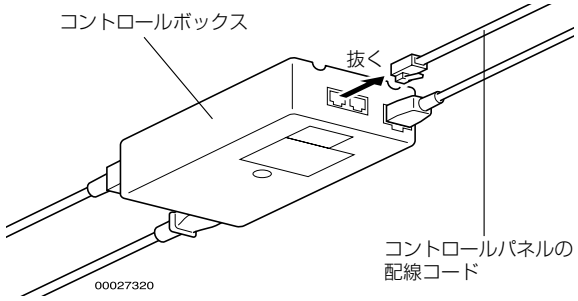
4.電源コードのプラグを、電源コンセントから抜いてください。

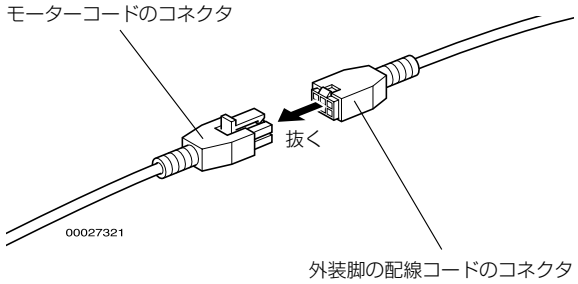
5.コントロールパネルの配線コードのコネクタを、コントロールボックスから抜いてください。

6.外装脚の配線コードとモーターコードのコネクタを抜いてください。

※コントロールボックスに接続されているモーターコード・電源コードは、コントロールボックスに接続した状態で置いておいてください。



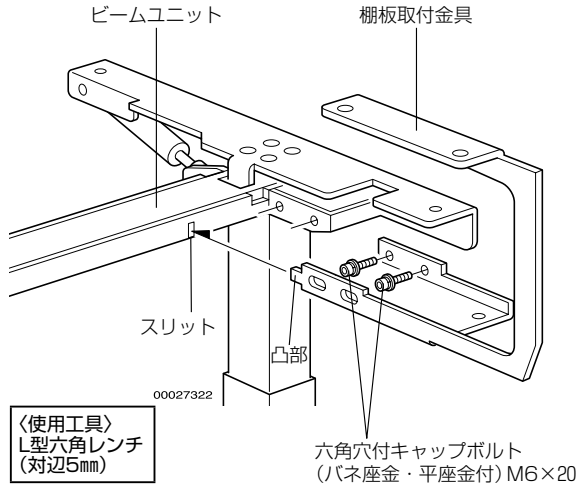




5 棚板取付金具の取り付け

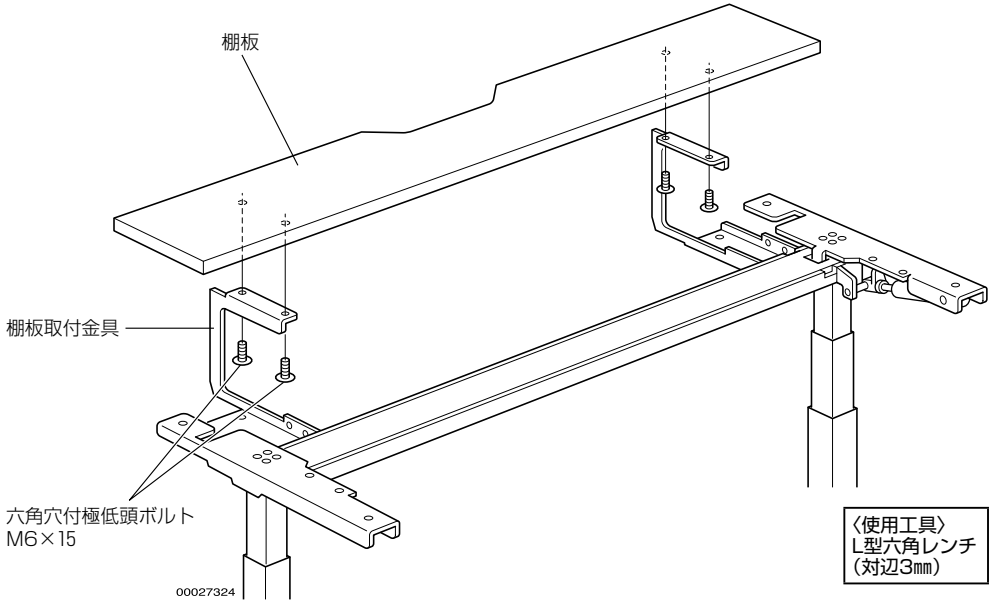
ビームユニットのスリットに棚板取付金具の凸部を差し込み、棚板取付金具とビームユニットを図のようにボルトで仮締めしてください。

※反対側も同じ要領で取り付けてください。



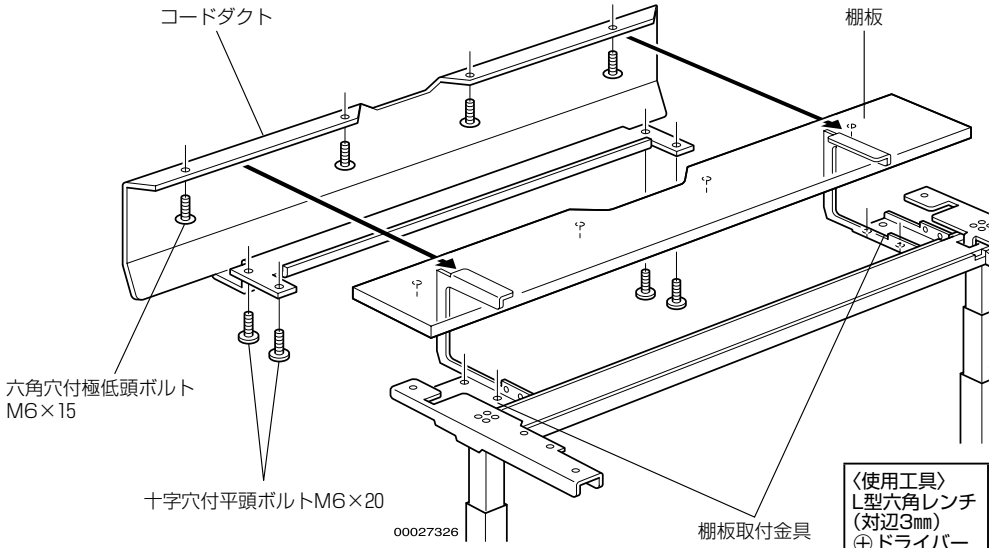
6 棚板の取り付け

棚板を棚板取付金具に、図のようにボルトで仮締めしてください。



7 コードダクトの取り付け

棚板と棚板取付金具にコードダクトを、図のようにボルトで仮締めしてください。



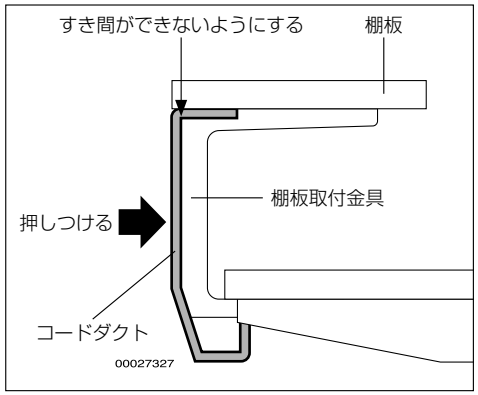
〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺3㎜)
⊕ドライバー
(NO.2)

8 ボルトの本締め

棚板と棚板取付金具の水平・垂直を調整しながら、仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。

〈ご注意〉

コードダクトを本締めするときは、棚板取付金具とコードダクトにすき間ができないように、コードダクトを押しつけながら本締めしてください。



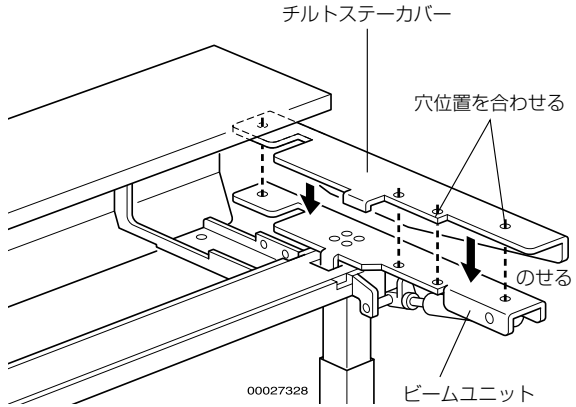
9 ボルトキャップの取り付け

コードダクトと棚板取付金具の固定ボルト(十字穴付平頭ボルト)に、ボルトキャップを取り付けてください。

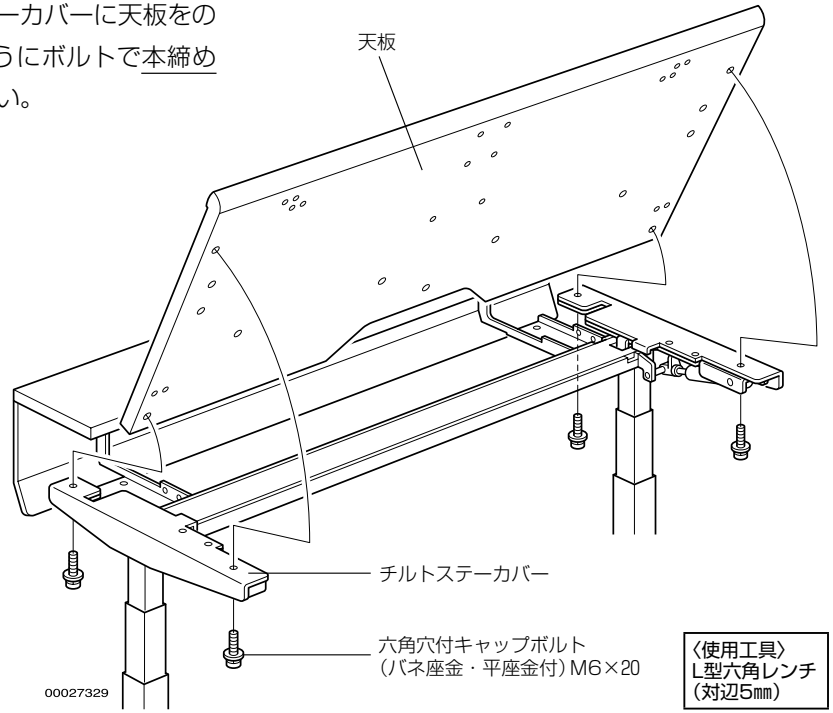
10 天板の取り付け

1. 本体のビームユニットにチルトステーカバーを図のようにのせ、穴位置を合わせてください。

※反対側も同じようにのせてください。



2. チルトステーカバーに天板をのせ、図のようにボルトで本締めしてください。

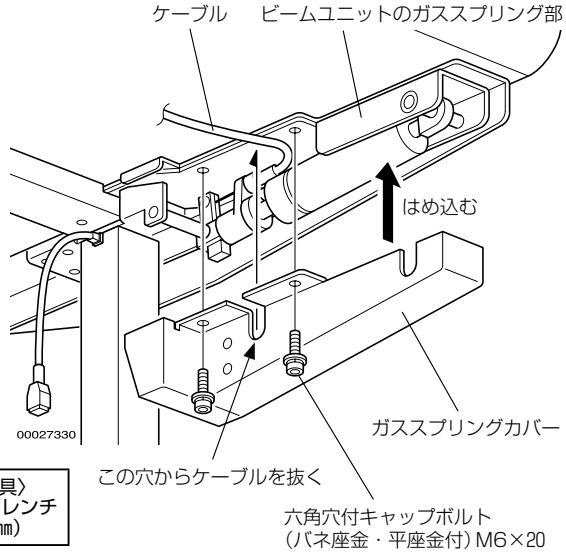


〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺5㎜)

11 ガススプリングカバーの取り付け

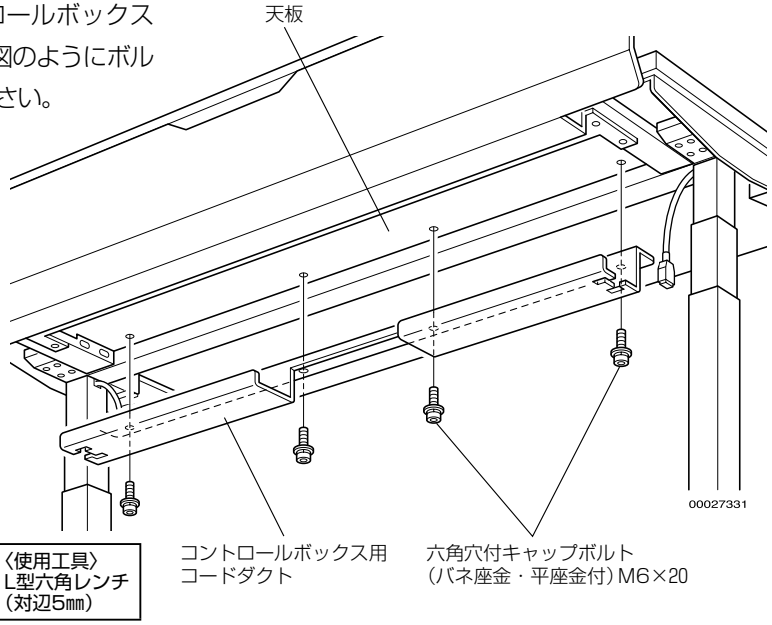
ビームユニットのガススプリング部にガススプリングカバーを、図のようにボルトで本締めしてください。

※反対側も同じ要領で取り付けてください。



12 コントロールボックス用コードダクトの取り付け

天板裏面にコントロールボックス用コードダクトを、図のようにボルトで本締めしてください。

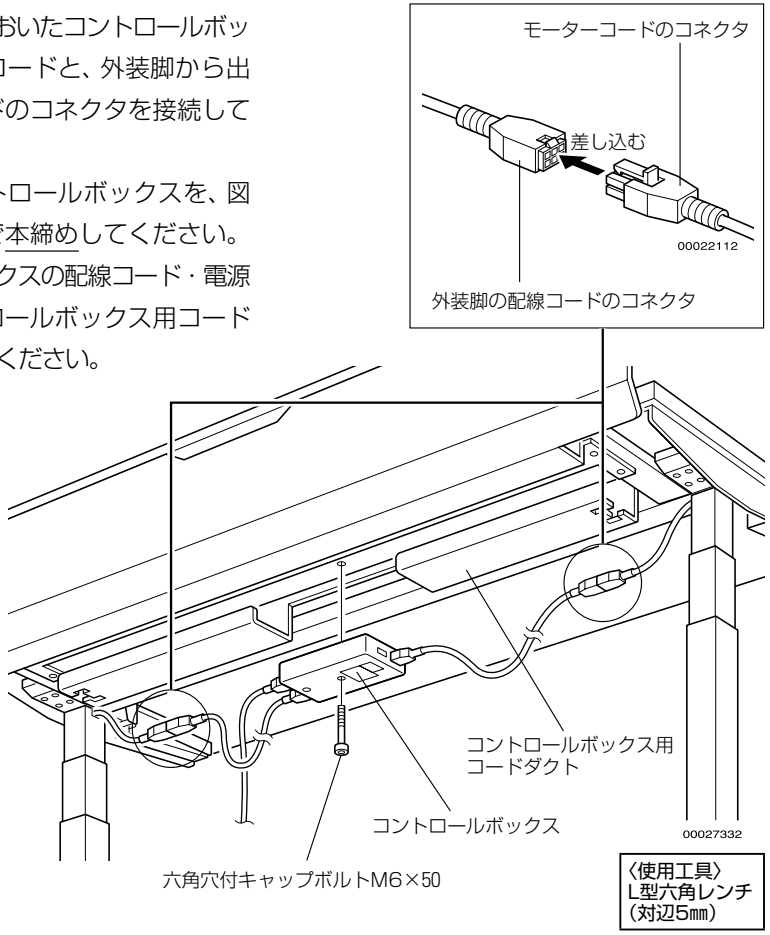


13 コントロールボックスの取り付け

1. 4の「**6**」で置いておいたコントロールボックスのモーターコードと、外装脚から出ている配線コードのコネクタを接続してください。

2. 天板裏面にコントロールボックスを、図のようにボルトで本締めしてください。

3. コントロールボックスの配線コード・電源コードをコントロールボックス用コードダクトに収納してください。



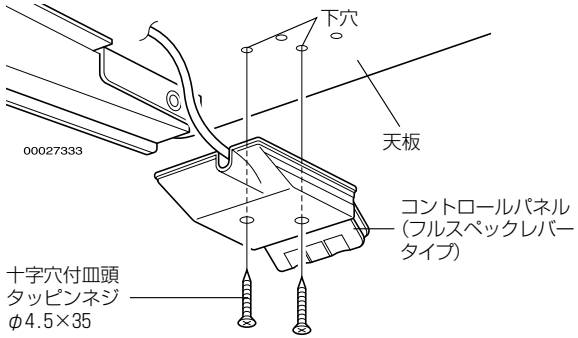
14 コントロールパネルの取り付け

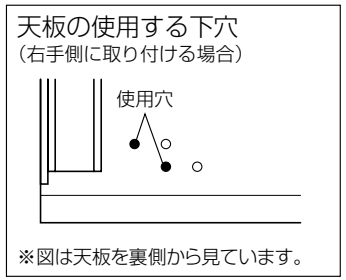
1. コントロールパネルが天板の右側になるように、天板裏面にネジで本締めしてください。

〈ご注意〉

タッピンネジを締めすぎないように注意してください。
樹脂が割れるおそれがあります。

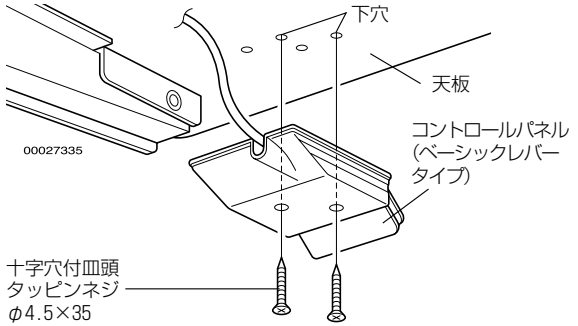
フルスペックレバータイプの場合

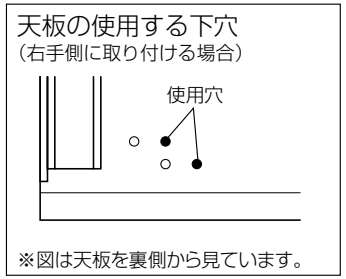




〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)

ベーシックレバータイプの場合



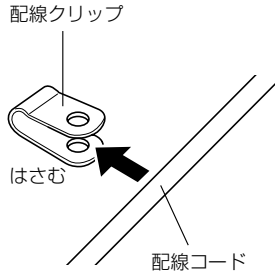


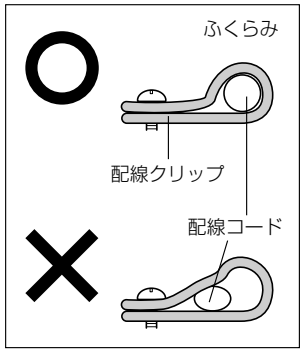
〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)

2. コントロールパネルの配線コードを、配線クリップではさんでください。

〈ご注意〉

配線コードは、配線クリップの丸いふくらみ部にはさんでください。



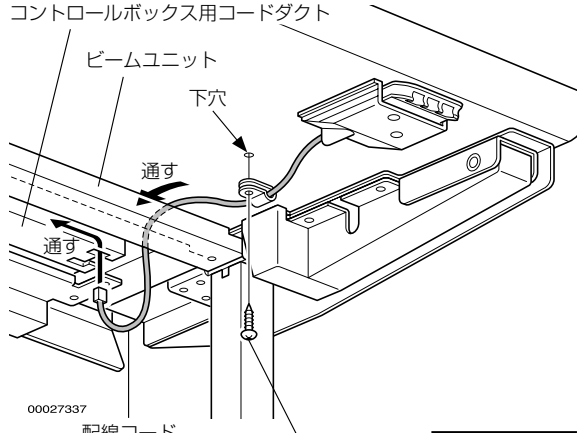


3. 配線コードを通した配線クリップを天板裏面の下穴に、図のようにネジで本締めしてください。

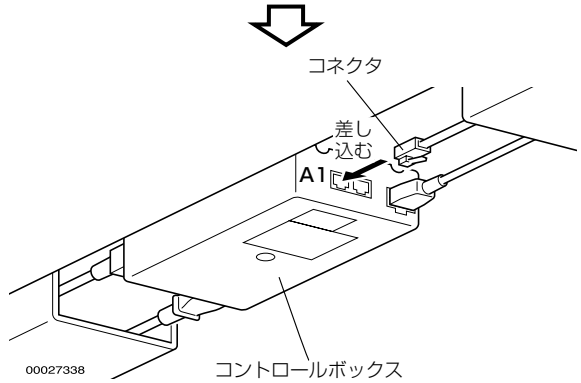
4. 配線コードをコントロールボックス用コードダクト内に配線し、コネクタをコントロールボックスの「A1」の接続口に奥までしっかり差し込んでください。

〈ご注意〉

- A2の接続口は使用しないでください。
- コネクタの向きに注意してください。



〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.2)



15 天板角度調整レバーの取り付け

1.天板裏面中央の下穴に天板角度調整レバーを、図のようにネジで本締めしてください。

〈ご注意〉

ネジを締めすぎないように注意してください。

樹脂が割れるおそれがあります。

2.天板角度調整レバーの配線コードを、配線クリップではさんでください。

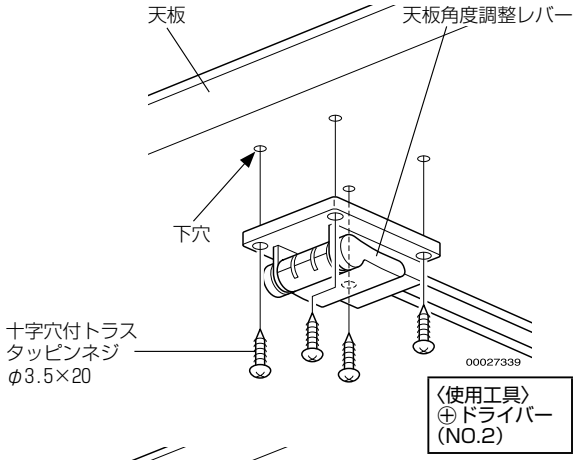
※㊱ページの14の「**2**」を参照してください。

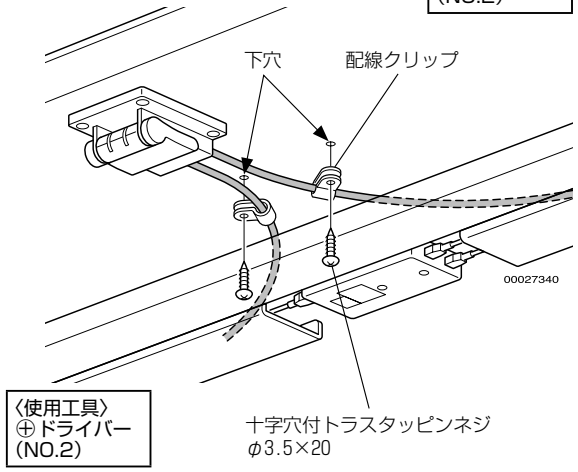
3.配線コードを通した配線クリップを天板裏面の下穴に、図のようにネジで本締めしてください。

〈ご注意〉

㊳ページ「16天板補強フレームの取り付け」にある天板を裏側から見た図を参照して、配線コードが自然な弧を描くように注意してください。

断線するおそれがあります。





16 天板補強フレームの取り付け

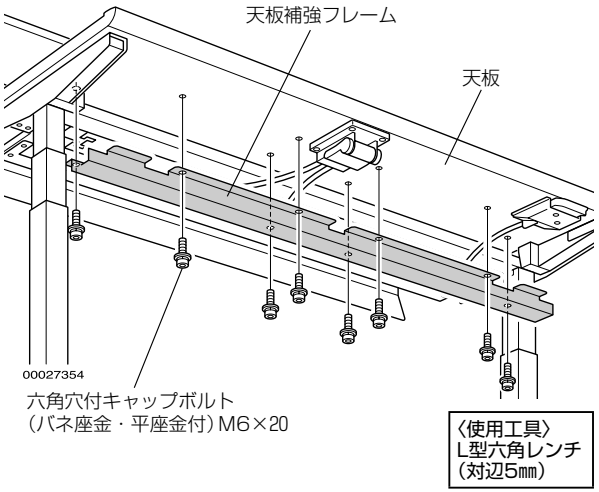
天板裏面に天板補強フレームを、図のようにボルトで本締めしてください。

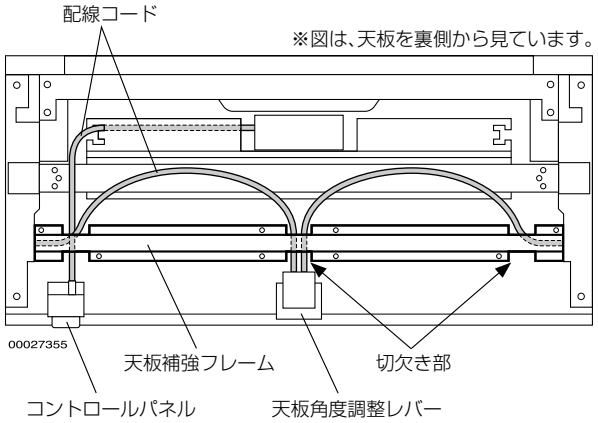
このとき、天板角度調整レバーの配線コードを、下図のように天板補強フレームの切欠き部から逃してください。

〈ご注意〉

天板角度調整レバーの配線コードを、天板補強フレームではさみ込まないように注意してください。

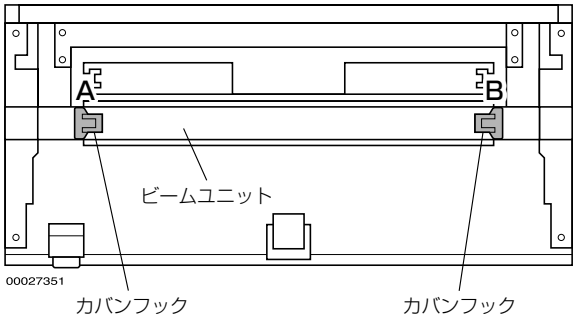
断線するおそれがあります。





17 カバンフックの取り付け

1.カバンフックは、右図のA・B位置に取り付けることができますので、取付位置を確認してください。



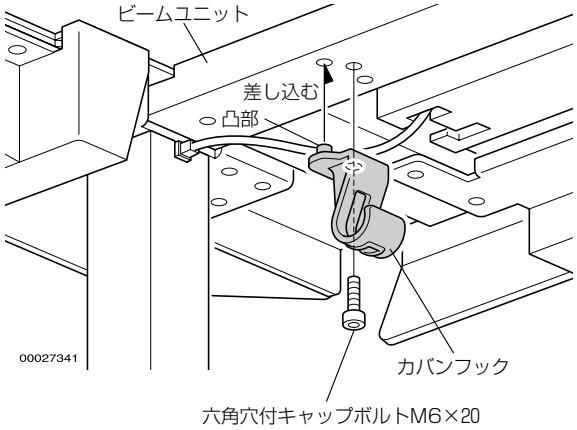
※図は、天板を裏側から見ています。

2.ビームユニットにカバンフックを、図のようにボルトで本締めしてください。

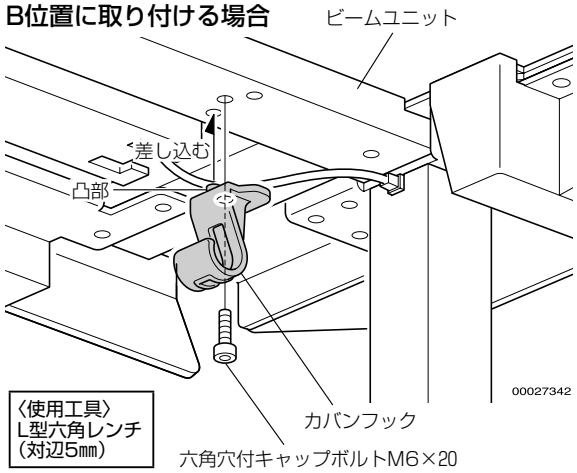
〈ご注意〉

- カバンフックは、必ず内向きに取り付けてください。
- A・Bの取付位置によって、ビームユニットの使用穴が異なりますので注意してください。

A位置に取り付ける場合



B位置に取り付ける場合



〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺5㎜)

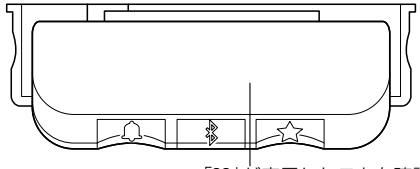
以上で、組み立ては完了です。
テーブルを設置位置に置き、ガタツキがないか確認し、あるときはアジャスターで調節してください。
次に、㊵ページの「10.組立後の作動確認」を行い、レイアウトする際は㊶ページの「11.レイアウト時の注意事項」を確認し、必要に応じて樹脂スペーサーを取り付けてください。

10.組立後の作動確認

〈昇降の作動確認〉

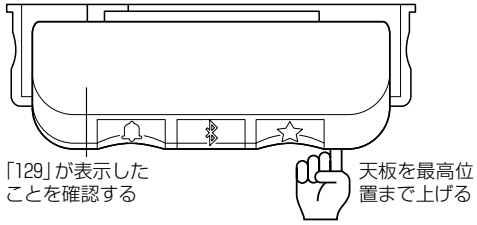
1.電源プラグを電源コンセントに接続してください。

2.10秒以上時間をあけた後、⑯ページ「8コントロールボックスの初期化のしかた」の操作を行ってください。フルスペックレバータイプの場合は、表示画面に「68」が表示したことを確認してください。

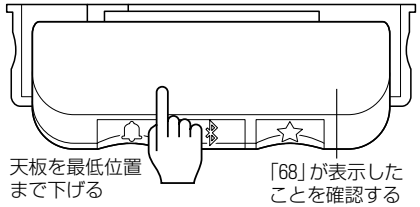


3.レバーを上に押して天板を最高位置まで上げてください。フルスペックレバータイプの場合は、表示画面に「129」が表示したことを確認してください。

※このとき、脚の昇降摺動面の潤滑油を拭き取ってください。(洗剤を使わずから拭きしてください。)



4.レバーを指で押し続けて天板を最低位置まで下げてください。フルスペックレバータイプの場合は、表示画面に「68」が表示したことを確認してください。



〈チルトメカの作動確認〉

1.天板の角度調整の確認

⑲ページ〈天板を傾斜させるとき〉の要領で、天板を最傾斜位置(12°)まで動かせることを確認してください。

2.天板を水平に戻せることを確認

⑲ページ〈天板を水平にするとき〉の要領で、天板を水平位置まで戻せることを確認してください。

以上で作動確認は終了です。

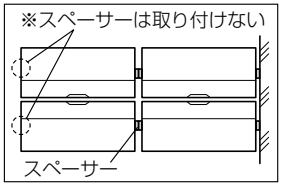
11.レイアウト時の注意事項

1 樹脂スペーサーの取り付け

テーブル同士を隣り合わせてレイアウトする場合は、スペースを確保するために付属の樹脂スペーサーを取り付けてください。

〈ご注意〉

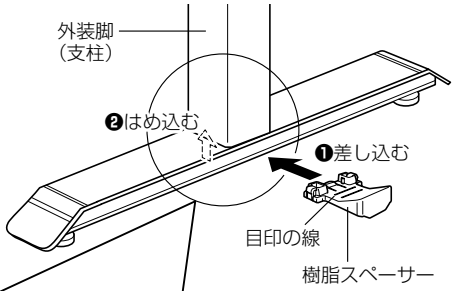
- 右図のように、隣り合うテーブルや壁がない場合は、つまずいて転倒する原因になるので、樹脂スペーサーを取り付けないでください。



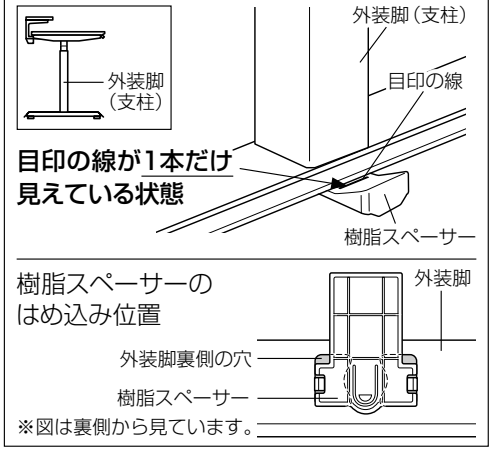
- ワイヤリングパネルと併用する場合は、樹脂スペーサーは使用しません。

1. 外装脚の支柱下から樹脂スペーサーを差し込み、樹脂スペーサー上面の目印の線に合わせて、樹脂スペーサーを外装脚裏側の穴にはめ込んでください。

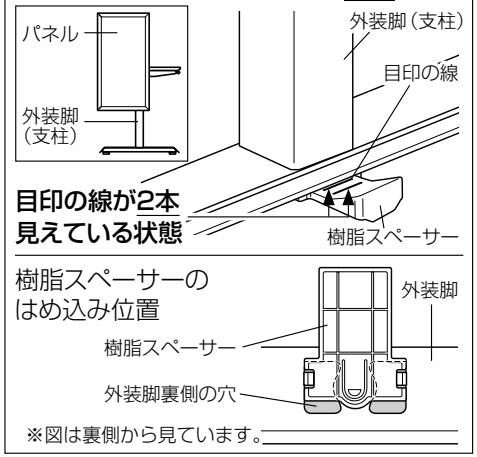
2. 取り付け後、樹脂スペーサーが外れないことを確認してください。



〈外装脚(支柱)横にパネルが無い場合〉



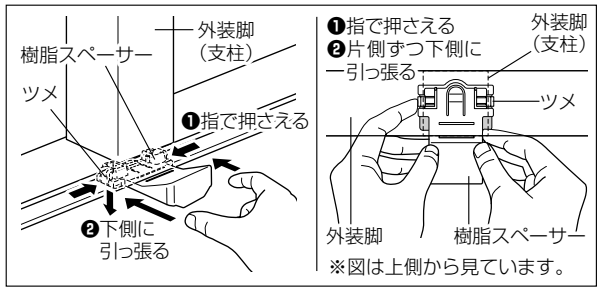
〈外装脚(支柱)横にパネルがある場合〉



2 樹脂スペーサーの外しかた

図のように、樹脂スペーサーの両側にあるツメを指で押さえたまま、片側ずつ下側に引っ張って外してください。

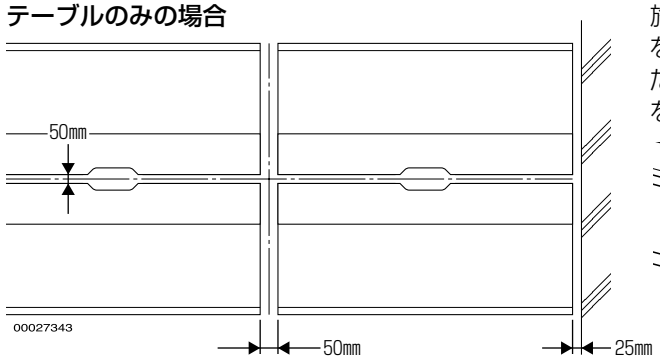
※図は外装脚（支柱）横にパネルが無い場合で説明していますが、ある場合も要領は同じです。



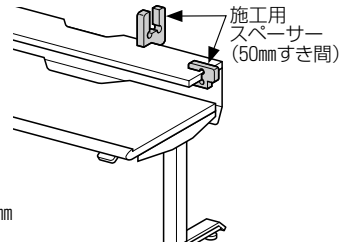
3 施工スペーサーを使用したレイアウトのしかた

樹脂スペーサーを取り付けた後、レイアウトする際は必ず施工スペーサーを使用し、必要な隙間が確保できているか確認してください。
レイアウト条件によっては、樹脂スペーサー同士の間に隙間が発生する場合があります。
その場合は、施工スペーサーを使用してあけた実際のスペースを優先してください。

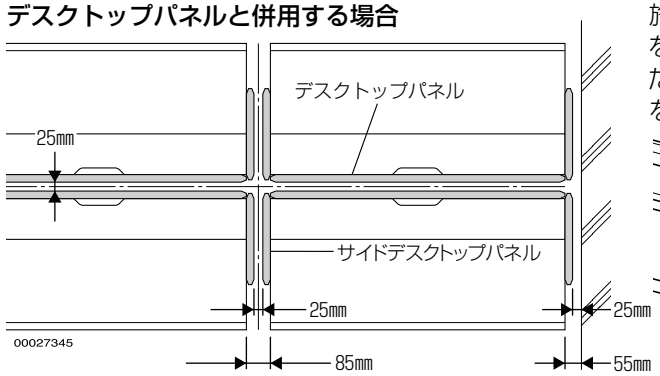
テーブルのみの場合



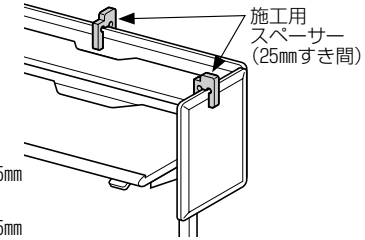
施工用スペーサー（50mmすき間）を使って、スペースを確保してください。施工後は、スペーサーを取り除いてください。



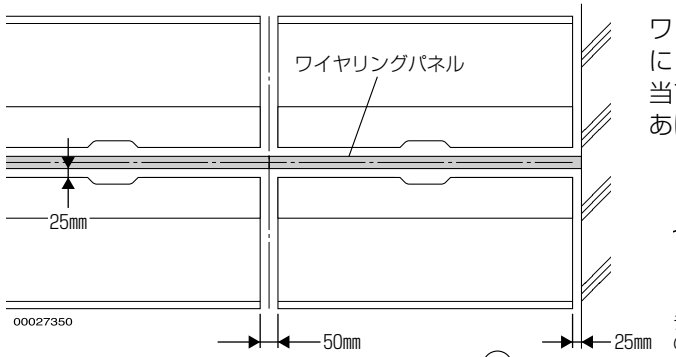
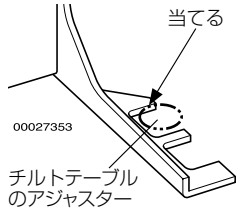
デスクトップパネルと併用する場合



施工用スペーサー（25mmすき間）を使ってスペースを確保してください。施工後は、スペーサーを取り除いてください。



ワイヤリングパネルと併用する場合



ワイヤリングパネルの安定脚にテーブルのアジャスターを当てることで、25mmのすき間をあけることができます。